

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

研究課題名： LGBT に対する看護学生の理解を促進するための課題に関する研究

・はじめに

現在わが国では、性の多様性を認めた制度や考え方が広がり始めています。文部科学省では、教員向けに性の多様性に関するパンフレットを配布し、小中高生に対する LGBT（性的少数者）の方を理解するための啓発活動を行っています。

しかし医療の場においては、医療従事者の LGBT に対する理解はいまだ不十分です。すなわち、LGBT の方が医療機関を利用しづらい現状があります。この問題を解決するには、看護師が性の多様性への理解を深め、LGBT の方に配慮した看護を行う必要があります。

本研究は、看護学専攻 4 年の吉澤真歩が卒業研究として取り組むものです。本研究を通して LGBT への理解が深まることを目的としています。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

本研究では、看護学生の LGBT に対する社会的距離・LGBT に関する知識・LGBT に対する看護・LGBT との関わる機会・LGBT への関心度について、アンケート調査を行います。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部保健学科看護学専攻に 2019 年度在籍されている、1 学年～4 学年の方、約 320 名を対象としております。

対象のうち 1・2 学年の学生には未成年の方が含まれます。未成年の方の場合、保護者の方が調査協力をお断りになることが可能です。学生がアンケート調査に協力することを希望されない保護者の方は、下記調査期日までに相談窓口（連絡先）までご連絡をお願いします。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より 2021 年 3 月 31 日までです。

調査実施時期：1 学年・2 学年（2019 年 10 月）、3 学年（2019 年 9 月）、4 学年（2019 年 8 月）

・研究に用いる試料・情報の項目

学生に無記名アンケート用紙にご回答いただきます。所要時間は約10分です。ただし、調査に協力するかどうかは、ご自身の自由な意思でお決めいただけます。研究に協力しないことによる不利益は、一切ありません。

アンケート用紙の内容は、(1)LGBT に対する社会的距離を問う質問 20 問、(2)LGBT の看護に関する質問 3 問、(3)LGBT の知識に関する質問 6 問、(4)LGBT に対する関心・関わる機会に関する質問 2 問です。

なお本調査用紙は、「群馬大学、性の多様性に関する基本的考え及び対応ガイドライン」に基づく対応窓口（にじいろラインメール）の専門相談員の助言を受けて作成しています。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

不利益として、アンケート用紙に回答するための時間的拘束が予測されます。得られる個人の利益は特にありませんが、研究成果は、LGBT の方に対する多様性を認めた看護の提供に貢献できる可能性があると考えています。

なお調査協力に伴う経済的負担及び謝礼はありません。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐために、個人を特定できる情報は収集せず、また、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。データは 2030 年 3 月 31 日まで保管されます。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、個人を特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

本研究で得られたデータ（回答済みのアンケート用紙）は、群馬大学医学部保健学科精神看護学演習室の鍵付キャビネットで管理し、2020 年 3 月 31 日に再生不能な状態にして廃棄いたします。また、研究成果の論文発表から 10 年のデータ保存期間が終了した場合は、すべての電子データを再生不能な状態にして廃棄いたします。

・研究成果の帰属について

この研究により得られた知的財産は、研究者もしくは所属する研究機関に帰

属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

研究資金は、大学法人運営費交付金でまかなわれます

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われたいのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

（ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>）

・研究組織について

この研究は、群馬大学医学部保健学科看護学専攻の4年生、および群馬大学大学院保健学研究科の教員によって行われます。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者 所属・職名： 群馬大学大学院保健学研究科・教授

氏名： 近藤浩子

連絡先： 027-220-7111（内 8984）

研究実施者 所属・職名： 群馬大学医学部保健学科・看護学専攻4年

氏名： 吉澤真歩

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合に連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

学生が未成年の方であって、アンケート調査に協力することを希望されない保護者の方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究に協力しない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：大学院保健学研究科看護学講座教授

氏名： 近藤 浩子

連絡先：〒371-8514

群馬県前橋市昭和町3 - 39 - 22

Tel：027-220-7111（内 8984）

担当：近藤 浩子

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された情報の利用に関する通知
情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
利用し、または提供する情報の項目
利用する者の範囲
情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法